



長門市立子育て支援センターだより

子育てお役立て情報

2023年3月1日発行

「3月3日」耳の日 知っておきたい耳の異常のサイン



3月3日は3（み）3（み）にちなんで「耳の日」。

耳は音を聞いたり体のバランスを取ったりする役目があります。

子どもは風邪などの感染症から耳のトラブルを起こすことがしばしばあります。

早く対応できるよう、耳の病気や聞こえの異常のサインを知っておきましょう。

耳の病気

風邪をひいて鼻水が出ているのを放っておくと中耳炎を起こすことがある。

- ◇ 中耳の中で炎症が起こってうみがたまり熱が出る。
- ◇ 鼓膜を圧迫して強い痛みが起こる
- ◇ 鼓膜が破れてうみ（耳だれ）が出る

発熱など、風邪の症状に加えて……

- ・ しきりに耳を触る
- ・ 頭を振る
- ・ 耳に触られると嫌がる
- ・ 痛みのためきげんが悪くなる
- ・ 夜なかなか寝なくなる



聞こえの異常

聞こえの異常（難聴）には、生まれつき聴力が弱い場合と、病気が原因となっている場合があります。

難聴の原因となる病気は？



渗出性中耳炎

急性中耳炎が治りきらないと中耳にサラサラとした液（滲出液）がたまる。痛みや発熱など症状がないため、発見がおくれることがある。

おたふくかぜ（流行性耳下腺炎）

原因となるウイルスが内耳（音を感じる部分）に感染して、難聴を起こす。流行性耳下腺炎の予防接種を受けて、感染を防ぐことが重要。（任意接種）

ことばと聴力

聞こえの異常は 言葉の育ちにも影響します。
0～4歳は、耳から聞いてことばを覚える重要な時期です。
子どもは「聞こえにくい」ことに気づきにくく、正確に言えません
「聞こえてる？」と心配になったら、確認してみましょう。

子どもの「聞こえ」チェック

- 大きな音に驚いたり、目を覚ましたりするか
- おもちゃの音に振り向くか
- 周囲の呼びかけに振り向くか
- 後ろから名前を呼んだら振り向いたり、返事をするか
- 音楽に合わせて踊るか
- 好きな音楽やCMソングなどに反応するか
- 声のみの指示に従うか
- 発達にそって、習得することばは増えているか
- ことばのまねっこをするか



家の中の音は？

「聞き取りにくい耳」になる要因

- ・ テレビ、YouTubeなどの音量が大きく、いつもかかっている
- ・ 話しかける声大きい

やってみよう

- ・ 小さな声で話してみよう
- ・ 自然の中で耳をすまして、いろいろな音を見つけよう

絵本の紹介



作 かがようこ
瑞雲舎

「りんちゃんのおめめはどこ？」「おみみはどこ？」と聞くと「ここよここよ」と答える。お子さんの名前を呼びながらふれあいを楽しんでね。

